

が大きく異なる。秋も遅い時期になれば飛び石伝いに沢を渡れるが、シーズンはじめには不安定な雪渓を高巻くようルートがつけられており、通過には充分な注意が必要だ。

黒部別山谷出合からも狭い岩壁の水歩道を行く。谷は白く泡立つ激流と、深く青い滝が美しい白竜峡の峡谷へ入

る。ところどころ、岩にかけられた丸木を渡る箇所もあり、スリップに要注意だ。

やがてゴルジユから開放され、幅を広めた流れは平易な沢の様相となり、それを見下ろしながら、草付きと灌木の斜面となつた水平歩道をたどる。途中、壁から落ちる滝の直下を通過する

地点では、多少濡れることを覚悟しなければならない。

しばらくして道は樹林帯へ入り、やがて十字峠吊橋へ出る。十字峠は左手から劍沢、右手から棒小屋沢の流れが黒部川と合流する地点。吊橋の手前は広場になつていて、ここから本流側へ少しヤブの踏跡をたどると、十字峠を

